

1 基本的な考え方

(1) 本市の状況 (郡山のあゆみ)

- ・江戸時代：奥州街道の宿場町として繁栄
- ・明治時代：安積開拓と安積疏水の開さくが発展の礎
- ・大正時代：郡山市誕生 (1924年)
- ・昭和時代：新産業都市指定 (1964年)、大合併 (1965年) を契機とした起業進展
- ・平成時代：中核市移行 (1997年)、東日本大震災、原子力災害発生 (2011年)
- ・現在：東日本大震災、原子力災害からの復興を強く推進

(2) 総合戦略策定の趣旨

我が国の状況

- ▶2008年をピークに人口減少局面に突入
- ▶若い世代の地方からの流出と東京圏への一極集中
→日本全体の少子高齢化、人口減少が加速

本市の状況

- ▶他自治体と比べ、人口減少率や高齢化率は平均を下回っているが、
2040年には約28万人に減少し、その後も減少が続くと推測

人口減少社会における本市の使命

- ▶福島県の中核的機能であり、中核市として担うべき都市責任の遂行
- ▶福島県の「経済県都」としての地域経済けん引
- ▶「地の利」、「都市としての蓄積」等、都市のポテンシャルを最大限に発揮し、誰もが安全・安心に暮らすことのできる都市環境の整備

(仮称) 郡山市人口ビジョン

- ◆2040年以降も人口30万人規模であることが必要
 - ・出産、子育て支援の充実→合計特殊出生率 1.8の実現 (2040年)
 - ・若年女性の転出超過の抑制、定住人口の増加

(3) 政策分野の範囲

国の総合戦略で示す4つの柱①「しごとづくり」、②「ひとの流れ」、③「結婚・出産・子育て」、④「まちづくり」に加え、⑤「福祉」、⑥「教育」の分野を加えた6分野により、地方創生を推進

(4) 国・県の総合戦略との関係

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「ふくしま総合戦略 (仮称)」を勘案し策定

(5) 総合戦略の期間

国、県との整合性を図り、平成27年度から平成31年度までの5年間とする。

(6) 総合戦略策定の経過

- ◆庁内の推進組織「郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」の設置
- ◆「産学金労言等」の分野で活躍される方々で構成する「郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議」による意見聴取
- ◆就学、結婚、子育て世代等に対するアンケート調査の実施
- ◆郡山市第五次総合計画第九次実施計画の策定と平行し策定
- ◆地域経済分析システム「RESAS」等のビッグデータの活用 外

(7) PDCAサイクルの確立

KPI (重要業績評価指標) を設定し、実施した施策・事業の効果や行政システムのあり方を検証し、総合戦略の実効性を確保する。

2 基本目標と主な政策パッケージ

基本目標 1

しごとみがきと産業の活性化

最先端の研究機関と連携し、経済県都としての更なる発展と新たな起業支援・良質な就業機会の創出

主な政策パッケージ

- ・本市の地理的優位性や立地する研究機関を生かした積極的な企業誘致
- ・研究機関と地元企業が連携した新産業の創出
- ・農業の担い手育成と成長産業化
- ・誰もが安心して働くことができる雇用機会の確保

基本目標 2

ひとの流れと定住の促進

安積疏水に代表される豊かな地域資源を生かし、多くの方が郡山に「住む」・「訪れる」流れの創出

主な政策パッケージ

- ・地域資源を活用した観光誘客と情報発信
- ・歴史、音楽などの文化振興とスポーツ環境の充実
- ・誰もが訪れたいくなる「まち」の魅力を高めた移住、定住の環境整備

基本目標 3

子育て支援・女性の活躍推進

結婚・妊娠・出産・育児の希望をかなえ、もう一人生み育てられる切れ目ない支援及び女性が社会参加できる環境の創出

主な政策パッケージ

- ・妊娠～出産～子育ての切れ目ない支援
- ・子どもたちが健やかに成長できる体力向上等の環境づくり
- ・育児と介護のダブルケアを支援する体制づくり
- ・家庭と仕事の両立を実現するワークライフバランスの充実

基本目標 4

安全・安心に暮らせるまちづくり

自然と都会が共存・連携できる誰もが安全・安心で住みよい広域都市こおりやまの実現

主な政策パッケージ

- ・セーフコミュニティの推進による、災害、犯罪のない安全・安心なまちづくり
- ・既存ストックマネジメントの強化
- ・地域連携による経済、生活圏の形成

基本目標 5

笑顔で生きいきと暮らせるまちづくり

社会全体で支えあい、その人がその人らしく、心豊かに充実した人生を送ることができる「健康長寿社会」の実現

主な政策パッケージ

- ・高齢者が健康で生きがいを持って暮らせるまちづくり
- ・介護を受ける人も支える人も笑顔で暮らせるやさしいまちづくり
- ・全ての市民が健康で生きいきと暮らせるまちづくり

基本目標 6

誰もが楽しく学べる環境づくり

多様な学習機会に応え、一人ひとりの心が充実する教育環境の整備と「知の力」の創出

主な政策パッケージ

- ・全国トップレベルを目指した教育環境の充実
- ・世界で活躍できるグローバルな人材育成
- ・誰もがいつでもどこでも学ぶことができる環境～居場所～の整備